

事例
3

不衛生な状態で登校する 小学生への支援

背景や要因

養育への無関心

1 気になる状況

相談内容

小学6年生女子
家庭環境の改善

経緯と現状

本人、母親の二世帯である。本人は衣服が汚れたままで登校し、不衛生な状態だった。
母親はうつ傾向があり、精神的に不安定で、子供の面倒を見ないことが多い。家は大量のゴミが散乱しており、足の踏み場もない状態である。
このような養育状況の結果、登校できない日が増えている。担任が家庭訪問しても母親と会うことができない。母親は、これまでにどこにも支援を要請していない。

学校

SSWrを
要請

SSWr

- 相談の詳細を確認するため学校を訪問し、担任等から情報収集を行った。
- 現在までの関係機関との連携について確認した。
- 学校から保護者にSSWr訪問の承諾を得てもらうよう依頼した。

SSWr

- 学校にケース会議開催を提案
- 参加者の選定や連絡・調整について助言
 - 会議にも参加し、支援策について助言

2 ケース会議

アセスメント（課題の背景や要因の見立て）

本人について (生育歴、学校や家庭の様子など)	家族について (保護者・兄弟姉妹等の状況など)	その他 (経済状況、地域社会との関係、家庭の様子など)
<ul style="list-style-type: none"> ● 入浴の習慣がない。 ● 衣服が汚れたままの状態である。 ● 食事は、菓子パンやコンビニ弁当を不規則な時間に食べている。 ● 学校を欠席することが多い。 ● 教室に入ると頭痛を訴える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 父親は別居状態で関わりがない。 ● 母親はパート勤務をしているが、精神的に不安定なことがあり、欠勤することも多い。 ● 母子関係はよくない。 ● 祖父母は心配しているが、母親が協力を要請しないので、関わりがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭からの支援要請はない。 ● 自治会長や民生委員が接触を試みるが拒まれる。 ● 家の外にもゴミが散乱している。 ● 水道料金等の滞納が見られる。

考えられる背景要因

- 母親の本人に対する養育の無関心が考えられる。
- 経済的困窮が考えられる。

現在行っている学校の対応

- 担任、養護教諭 …… 本人への声かけや教育相談を実施している。
- 担任、学年主任 …… 定期的な家庭訪問を実施している。

プランニング ①（課題解決に向けた目標の設定）

長期的な目標

- 学校や家庭で楽しく過ごすことができる。

短期的な目標

- 身の周りを清潔に保つなど、基本的な生活習慣を身に付けることができる。
- 学校に登校できる日数を増やし、登校した時は友達と関わることができる。

学校は定期的な家庭訪問を行い、家庭状況の把握に努めていましたが、母親に受け入れてもらえない状況が続いていました。そこで学校だけで解決することが困難と考え、教育委員会を通じて依頼があった事例です。

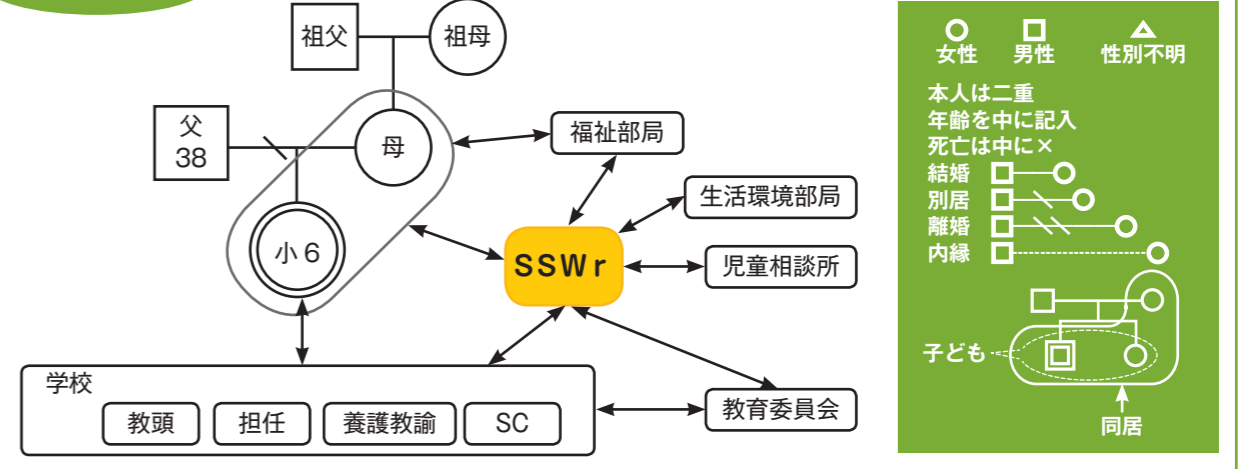
学校を訪問し、情報収集を行ったり、協力を依頼したい関係機関を含めたケース会議を開催したりしていただきました。

支援は継続中ですが、学校と連携し、本人や母親に寄り添った支援に努めていきたいと思っています。



SSWr

エコマップ



プランニング ② (具体的な手立てと役割分担の決定)

- 担任**
- 継続的な家庭訪問を行う。
 - 本人が学級で楽しく過ごせるよう学級への働きかけを行う。
- 養護教諭**
- 食事や入浴など、基本的な生活習慣について自分でできることを増やす指導をする。
- SC**
- 本人、母親の求めに応じ、カウンセリングを行い、関係性の構築を図る。
- 教頭**
- 別室登校ができる場所を調整する。
- SSWr**
- 母親の話を受容的に聞き、関係者の心配を伝える。
 - 児童相談所、市の福祉部局・生活環境部局に情報提供し、連携・支援を依頼する。
 - 子ども食堂や市の放課後学習等へつなぐ。
- 市の福祉部局**
- 保健師を家庭に派遣し、必要に応じて医療機関へつなぐ等の支援を行う。
 - 子ども食堂や放課後学習等へつなぐ。
- 市の生活環境部局**
- 散乱するゴミを片付けるなど、家庭環境の整備を行う。

3 その後の状況

- 市から支給される手当等を直接現金で支給し、母親と福祉部局との面談の場を増やしている。
- 児童相談所と福祉部局による家庭訪問により現状把握に努めている。
- 担任や保健師、SSWrによる家庭訪問を実施し、母親との連携が図れるようになってきた。
- SSWrが関係機関に参加を依頼してケース会議を開き、現在の支援状況を確認しながら継続して支援している。
- 学校を休みがちであった本人の状況が、少しずつ好転し、別室登校ができるようになってきた。
- 市の生活環境部局により、家の外のゴミを片付けることができたが、家の中の片付けはできない状態である。